

議会だより

No.65
令和3年1月

発行／北斗市議会 監修／北斗市議会運営委員会



「からだを動かすって楽しいね！」

— 親子リフレッシュ教室にて—

第4回定例会の概要

- こんなことが決まりました……………1
- 一般質問（8名）……………3
- 委員会活動をお知らせします、一部事務組合・広域連合議会の動き……………11
- 第3回北斗市子ども議会……………14
- 議員の会議出席状況（1年間の状況）……………15
- 議会日誌・編集後記……………17

こんなことが決まりました

第4回定例会

令和2年第4回定例会は、12月8日から11日までの4日間の会期で開催され、一般質問のほか、令和2年度各会計補正予算、条例の一部改正などについて審議しました。

▼補正予算

- ・ **令和2年度北斗市一般会計補正予算（第10号）** …… **原案可決**
新型コロナウイルス感染症の影響による予算額の整理・調整のほか、各種事業の確定見込みによるもので、イベント振興経費、スポーツ合宿推進経費、新函館北斗駅周辺整備事業経費、保健体育施設管理経費などで3,570万5千円を減額し、総額を282億5,340万6千円としました。
- ・ **令和2年度北斗市一般会計補正予算（第11号）** …… **原案可決**
新型コロナウイルス緊急対策経費として、ひとり親世帯への臨時特別給付金の再支給に係る経費を5,824万9千円追加し、総額を283億1,165万5千円としました。
- ・ **令和2年度北斗市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）** …… **原案可決**
疾病予防経費で742万3千円を減額し、総額を49億3,603万6千円としました。
- ・ **令和2年度北斗市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）** …… **原案可決**
後期高齢者医療保険料徴収経費で87万9千円を追加し、総額を6億928万4千円としました。
- ・ **令和2年度北斗市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）** …… **原案可決**
介護保険料賦課徴収経費、地域密着型介護予防サービス給付費などで481万1千円を追加し、総額を46億4,754万5千円としました。
- ・ **令和2年度北斗市水道事業会計補正予算（第3号）** …… **原案可決**
収益的支出の営業外費用で4千円を追加し、総額を6億9,694万2千円としました。また、資本的支出では建設改良費で1,795万2千円を追加し、総額を9億2,767万4千円としました。
- ・ **令和2年度北斗市下水道事業会計補正予算（第2号）** …… **原案可決**
収益的収入の営業外収益で3,039万5千円を減額、特別利益で3,039万5千円を追加し、総額を11億2,843万6千円としました。

▼条 例

- ・ **北斗市固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正** …… **原案可決**
地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、本条例で引用している同法の条項及び総務省令名を改めるための一部改正です。
- ・ **北斗市健康センター条例の一部改正** …… **原案可決**
北斗市健康センターの管理運営を指定管理者に行わせることができるよう、指定管理者による管理、業務の範囲など、必要な事項を定めるための一部改正です。
- ・ **北斗市火葬場条例の一部改正** …… **原案可決**
市外の使用者に係る火葬場使用料が近隣市町に比べ低額のため、市外の使用者が増加し、市民の使用を圧迫しかねない状況となっていることから、近隣市町との均衡を図り、市外使用料を増額するための一部改正です。
- ・ **北斗市営住宅条例の一部改正** …… **原案可決**
鉄筋コンクリート造、3階建て、1棟12戸の茂辺地中央団地1号棟が、令和3年3月に完成し、4月1日より管理を開始することから、別表第1に追加するための一部改正です。

▼意見書 一可決された意見書は、以下のとおりです

・不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

(提出された意見書の内容は、議会のホームページで閲覧することができます。)

第4回臨時会

令和2年第4回臨時会は、11月10日に開催され、一般会計補正予算について審議しました。

▼補正予算

- ・令和2年度北斗市一般会計補正予算(第8号)…………… 原案可決
新型コロナウイルス緊急対策経費として、地域経済緊急対策応援キャンペーン事業補助金などで2億5,724万7千円を追加し、総額を282億8,911万1千円としました。

第5回臨時会

令和2年第5回臨時会は、11月27日に開催され、各会計補正予算、条例の一部改正について審議しました。

▼補正予算

- ・令和2年度北斗市一般会計補正予算(第9号)…………… 原案可決
人事院勧告に伴う給与改定及び会計間の人事異動などによる補正整理により、職員給与費を22万1千円減額、議員の期末手当の改定に伴い、議会費を45万5千円減額し、今後の補正予算の財源として予備費を67万6千円増額しました。予算総額282億8,911万1千円に変更はありません。
- ・令和2年度北斗市水道事業会計補正予算(第2号)…………… 原案可決
人事院勧告に伴う給与改定及び会計間の人事異動などによる補正整理により、収益的支出の営業費用で10万2千円を減額し、収益的支出総額を6億9,693万8千円としました。
- ・令和2年度北斗市下水道事業会計補正予算(第1号)…………… 原案可決
人事院勧告に伴う給与改定及び会計間の人事異動などによる補正整理により、収益的支出の営業費用で577万1千円を減額し、収益的支出総額を10億9,842万5千円としました。

▼条 例

- ・北斗市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正…………… 原案可決
人事院勧告に伴う一般職における期末手当及び勤勉手当の支給月数の増減に併せて、0.05月分引き下げるための一部改正です。
- ・北斗市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正…………… 原案可決
人事院勧告に伴う一般職における期末手当及び勤勉手当の支給月数の増減に併せて、0.05月分引き下げるための一部改正です。
- ・北斗市職員の給与に関する条例の一部改正…………… 原案可決
人事院勧告に基づき、民間給与との較差を是正するため、期末手当の支給月数の引き下げを行うもので、期末手当の支給月数を0.05月分引き下げるための一部改正です。

用語解説

意見書 … 地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国や関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のことをいいます。意見書案は議員が提出し、本議会でその可否を決めます。





工藤 秀子 議員

質問1 「社会福祉調査員活動支援」の事業内容は

市長 高齢者世帯への訪問調査等を行っている

一般質問

問 第2次北斗市総合計画の令和2年度実施計画において、主要施策「助け合い支え合う活動の推進」の「社会福祉調査員活動支援」及び主要施策「地域包括ケアシステムの推進」の「介護予防・地域支え合い事業」について、コロナ禍の中で大変だと思いますが、事業内容をお知らせください。

答(市長) 「社会福祉調査員活動支援」の事業内容については、高齢者世帯への訪問調査が主なもので、そこで得られた情報は、社会福祉協議会が実施する歳末福祉見舞金の配分や、福祉五目ちらし配付事業、サンタクロス活動事業の対象者把握などに活用されています。

また、市が実施する「ふれあい入浴券」の配布も行っています。

「介護予防・地域支え合い事業」の内容については、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう介護保険サービスと組み合わせ、主に4つの事業「布団乾燥サービス事業」、「除雪

サービス事業」、「生活管理指導員派遣事業」、「高齢者食生活改善事業」を実施しています。

問 社会福祉調査員は民生委員とは別なものなのか。また、調査員になるための資格、条件等はあるのか。

答(社会福祉課長) 現在、基本的には民生委員が社会福祉調査員となっています。なお、民生委員がない場合については、適任と認める方を任命しています。



配布事業の福祉五目ちらし

質問2 「ライン」の公式アカウントを開設しては

市長 本市においても有効な活用策の検討を継続してまいりたい

問 第2次北斗市総合計画の基本計画

「市民参加の推進」の主要施策として「情報提供の充実と情報発信の強化」があり、概要に「広報ほくと及び市公式ホームページの一層の内容充実と市民が見やすく、分かりやすい情報発信に努める」とあります。市民から「スマートフォンの使いこなす若年層に市政情報を積

極的に届けるよう、通信アプリ『ライン』の公式アカウントを開設しては」と提案がありました。

市としてのお考えをお知らせください。

答(市長) 行政が発信する情報は、その重要性や緊急性などの性質に応じて、提供方法の在り方を十分考慮する必要がありますと認識しており、庁内で毎月開催している情報発信戦略会議において、効率的かつ効果的な情報発信方策を検討し、発信する情報の種類や目的に応じた情報媒体の活用を検討しています。

例えば、災害等の緊急情報は、一人でも多くの市民に一斉に伝達することが重要ですので、緊急速報エリアメールの方が効果的ですし、観光やイベントなどの情報はすでに渡島総合振興局で開設し、一定の登録者数を有する観光情報のライン公式アカウントを活用する方が効率的であると考えています。

一方、最近では、ラインを活用して人工知能、いわゆるAIが市民の方々からの問い合わせに自動的に回答するシステムの研究等も進められており、ソサエティ5.0の実現に向けた新たな行政サービスとして、注視しています。

まずは、広報誌とホームページを基軸としながら、情報発信の強化に向けた職員のスキルアップを図るとともに、すでにラインを活用している道や他団体の実

績、効果等を検証し、本市においても有効な活用策の検討を継続してまいりたい。

問 市では、子育てアプリを活用しているの、同様にラインの活用もできないか。

答(企画課長) ラインについては、大変普及しており、情報、メッセージを共有する活用が最も多く、特に一度読むとそれが「既読」という形で表示され、非常に使いやすいことで人気があるのだと思います。

一方で、公式アカウントとして情報発信すると様々な媒体がありますので、ラインありきではなく、その特徴を生かし、効果的な媒体を使って発信していくことが必要だと思えます。



ほくと子育て応援アプリ「ママフレ」



板木 正則 議員

質問 市内の交通安全対策について

市長 市で実施できうる対策を、優先順位を考慮して行っている

問 (1)市内の通学路や横断歩道などにおいては、交通安全指導員、学校、PTA、各町内会の方々の活動や取り組みによって、市内の児童・生徒が安心して通学できる環境がつけられており、大変素晴らしいことだと思います。

しかし、最近よく聞こえてくるのが、町内会の役員の高齢化や担い手不足等による、負担の増加があるかと思えます。

児童・生徒の登校日に合わせての見守り活動はとても大事な活動であると考えます。

今後このような活動を安定的に継続・維持していくために、市として交通安全指導員の増員などで、協力できる部分があるのではないかと考えますが、市としての考えをお聞かせください。

(2)追分2丁目グリーンヴィラ団地内を通っている、桔梗新道線及び周辺の追分64号線・84号線などについて、交通量の多さと通過する車両の速度の速さから危険を感じるの声を継続してあります。

当該地区に横断歩道の設置要望の協議等はしているとのことでした。

住宅街の中を通る市道が幹線道路のバイパス道的に使われている道路での交通安全に関して、市の方針や対策があればお聞かせください。

答(市長) (1)地域の交通安全運動に対する市の支援については、町内会をはじめとする地域の皆さんによる児童・生徒の見守り活動は、児童・生徒の安全確保はもとより、ドライバーへの注意喚起犯罪の未然防止に多大な効果を発揮することから、引き続き、ご協力をお願いしたいと思っています。

市では、9人の交通安全指導員を採用し、信号機や横断歩道が整備され、比較的交通安全環境が整っている箇所では、交通量が多いところや、防犯上の観点を含め、必要性の高い箇所へ配置しています。また、名称は同じ交通安全指導員ですが、ほぼボランティアで、地域の交通安全事業などで交通安全指導を行っていた方が30人おり、交通安全運動の期間はもちろん、普段からできる範囲での立哨をお願いしています。

地域の皆さんにも、交通安全運動期間での立哨をお願いしており、町内会によっては、毎日朝夕の立哨を行っています。町内会活動と同様、こうしたボランティアに携わっていただいている人たちの

高齢化や成り手不足といった問題があることも承知していますが、あくまでもボランティアの精神に成り立っている活動ですので、市が人員を確保して配置するというのではなく、PTAの若い方々を含め、可能な範囲で行っていただきたいと考えています。

(2)横断歩道の設置については、通学路としての活用という観点で、町会要望や通学路交通安全対策プログラム会議の中で出されていますが、平成28年度に地域の皆さんの立ち会いのもと行われた現地確認では、函館中央署の担当から、「事故を誘発する可能性が高い横断歩道となり、設置できない」旨の回答がありました。

市道の交通安全対策としては、地域の要望などを踏まえ、ガードレールやカーブミラーの設置などのほか、注意看板による注意喚起などの市で実施できうる対策をその必要性や効果、優先順位などを考慮しながら行っています。

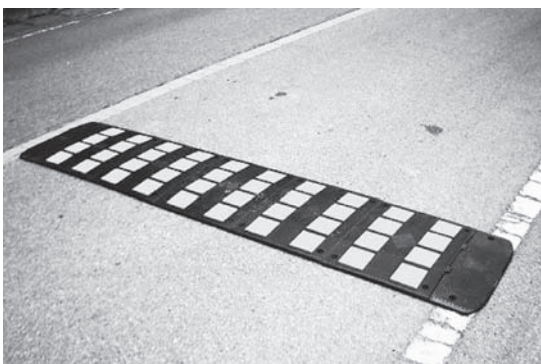
しかしながら、横断歩道の設置や速度規制といった規制標識の設置などは、公安委員会の権限による場所ですので、本市としても必要に応じて警察側との協議を行うことはもちろん、取り締まりの強化などについても要請してまいります。
問 浜分小学校グラウンド入口付近の横断歩道にも交通安全指導員の配置が必要と考えますが。

答(総務課長) ご質問の箇所は、横断歩道が設置され、ある程度の交通安全環境は整っていますが、やはり交通量が多いという認識ではあります。今後、配置できるかどうかは検討してまいりたいと思いますが、成り手不足という問題もありますので、ご理解いただきたい。

問 速度を抑制するという考え方の一つとして、減速帯の設置はできないか。

答(総務課長) 警察との協議は難易度的にはそれ程高くないかと思っておりますが、近隣の方々への騒音などの面も考慮しなければなりませんので、そのような面の難易度が高くなるかなと思います。

答(土木課長) 当該地区の市道の道路幅を考えると、抑制にはなるとは思いますが、振動などの問題で難しい部分があります。



安全対策に効果的なゴム製減速帯





渡野辺秀雄 議員

質問 北斗市の小・中学校のいじめの実態について

教育長 いじめの認知件数は増加傾向にある

問 全国の国公私立の小・中・高校、特別支援学校が2019年度に認知したいじめの件数は、前年度比12・6%増の61万2千496件と過去最高だったとの新聞報道がありました。

道内においても12・3%増の2万4千41件と過去最多を更新したようです。

いじめの内容は「冷やかしゃ、からかい、悪口」が61・9%と一番多く、最近の傾向として、スマートフォンのネット上などを通じていじめが広がっている実態も指摘されています。

いじめは、子どもの健全な成長の芽を摘む卑劣な行為であることは言うまでもありません。いじめが原因で不登校につながり、学力にも影響していきます。

今、このようなコロナ禍の中、教職員の皆さんも多忙となり、なかなか目が行き届かないところもあるかとは思いますが、家庭と学校が力を合わせ、いじめをなくす努力をしなければならぬと思っております。

そこで、2点についてお伺いします。
(1) 北斗市の小・中学校のいじめの実態をお聞かせください。
(2) 不登校の子どもたちの数と原因が分かればお聞かせください。

答(教育長) (1) いじめの実態については、市内の小・中学校においては、いじめの実態を把握するため、全児童・生徒に対して、年2回アンケート調査を実施しており、令和元年度の結果では、小中学校において123件、中学校では16件のいじめを認知しています。

また、いじめに関する意識調査も行っており、「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答している児童・生徒は、全国平均を上回る90%以上でしたが、残念ながら本市においても、いじめの認知件数は増加傾向にあるのが現状です。

いじめの内容については、「冷やかしゃ、からかい、悪口」が本市においても最も多く、その他にも、スマートフォンなどのネット上でのいじめなども令和元年度に3件認知していますが、これら全てのいじめについて、全児童・生徒への指導を実施して解決している状況です。
(2) 令和元年度の不登校の子どもの数は、小学生で12名、中学生で80名となり、その原因としては、集団生活になかなか適応できない、学業不振や将来への漠然とした不安、疾患など様々な要因が複合している場合が多く、本人や家庭内だけの問題ではなく社会的な問題として捉えています。

いじめ、不登校等の生徒指導上の諸課題の解決には、学校内での情報共有による組織的な対応の徹底はもちろん、家庭と学校が力を合わせる事が重要であり、日ごろから学校の様々な情報を積極的に保護者や地域に発信することで、学校・家庭・地域が連携して社会全体でいじめの未然防止に取り組むことや不登校の児童生徒を受容する姿勢で共感的理解を深め、自己肯定感を高めることができる環境づくりをしていくことが大切であると考えています。

問 未来のある子どもたちの心を守り、心身を鍛えてあげることが私たちの役目だと思っており、そういった心掛けが一番大事ではないかと思えます。

いじめや不登校は簡単に解決できる問題ではないが、教育委員会がリーダーシップをとって、学校はもちろんのこと、地域も巻き込んで解決に向けた取り組みはできないか。

答(教育長) 最近、社会の考え方が若干変わってきて、学校に行かないことが悪いことではないというような風潮になってきています。

医師なども、無理に学校に行かせない

というようなケースが増えてきています。それは、学校に行くかどうかよりも、子どもが社会的、心理的に自立していくことが大事だということです。

学校に来れない子どもに対して、社会全体が大らかに見てあげることも大事ですし、教育委員会としては、自尊心をもつて何か誇れるものを持てるような教育をこれから進めてまいりたいと考えています。

問 小・中学校の不登校の子ども数を学

答(学校教育課長) 小学校は、1年生1名、2年生1名、3年生1名、4年生1名、5年生4名、6年生4名で合計が12名となります。

中学校は、1年生17名、2年生29名、3年生34名で合計が80名となっています。



通学中の小学生たち



伊藤 洋平 議員

質問 ワイン振興による地方創生について

市長 大きな可能性を秘めたものと認識している

問 昨年5月、三ツ石地区において、グランポレール北海道北斗ワインヤードが開設され、三ツ石地区の風土、気候がワイン用ブドウの生産に適した環境であることが注目されました。

一般質問

また、文月地区でも生産能力の高い技術者がその土地の優位性に目を付け、ワイン用ブドウを生産されています。

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、地域に潜在する資源やニーズを掘り起こし、整備し、ビジネス化していくことで、この先、地域の雇用が創出でき、持続的発展の基礎を築く足がかりとなり得ます。

また、優秀な人材を地域に根付かせることにより、地域活性化へとつなげていくことができ、地方創生にも寄与するものと思われれます。

そのようなことから、次のことをお伺いします。

(1)前述のとおり、地域資本の強みを生かすことが、これからの地方創生に欠かせ

ないものになると考えますが、市長はワイン振興をどのようにお考えかお伺いします。

(2)地域に人材を根付かせるには、受け皿としてより参入しやすくすべく、市独自の制度があれば、他の地域に参入するよりは北斗市への参入を選択することが多くなると考えますが、市長はどのような取り組みにより参入者を支援していくのかお伺いします。

答(市長) (1)近年、全国的に北海道ワインが注目されており、ここ道南は、道内でも温暖で積雪が少ないなど、ブドウ栽培の条件に恵まれていることから、本市においても醸造用ブドウの栽培が拡大しているところと見られます。

現在、市内三ツ石地区、文月地区において、3法人が12・2haのブドウ栽培を行っており、令和6年度には32・3haへ拡大する計画となっております。このように、北海道ワインへの評価の高まりを受け、本市においても新たに醸造用ブドウの栽培が拡大していくことは、農業振興のみならず、6次産業化による地域全体の産業振興や地方創生につながる大きな可能性を秘めたものと認識しています。

(2)渡島管内における醸造用ブドウの栽培拡大の動きを踏まえ、平成31年2月に、醸造用ブドウ栽培の振興及び発展並びに品質向上によるブドウ産地としての競争

力強化を目的として、本市のほか、函館市、七飯町及び生産者などで構成される「みなみおしま醸造用ぶどう産地振興協議会」が設立され、ブドウ栽培に必要な苗木の購入費用などの支援を実施しており、今後も産地振興を図る上で必要な支援を継続するとともに、新規参入者の情報収集や情報共有も図ってまいりたい。

なお、醸造用ブドウの栽培に適した農地は、南向き、または、南東向きの斜面と条件が限られており、今後、産地として拡大していくためには、その条件に適した農地の確保が課題であると考えるため、市としては、市内の農地情報をも有している農業委員会との情報共有に努め、連携を密にすることで、新規参入者の受け入れにつなげてまいりたい。

また、市内では、醸造用ブドウの栽培に加えて、醸造所、いわゆる「ワイナリー」の建設を計画している事業者もいます。「ワイナリー」は、生産者が自ら生産・加工・販売を行う6次産業化の象徴的な施設であり、先ほど申し上げましたとおり、産業振興や観光振興、地方創生につながる可能性を秘めています。

しかしながら、その建設は、多額の費用を要するもので、市としては、国等の支援事業を活用しながら、何らかの支援策を検討してまいりたい。

今後も、生産者や関係機関からの意見

やニーズの把握に努め、本市の醸造用ブドウが国内外から高く評価されるよう産地振興を図ってまいりたい。

問 参入希望者に対し、受け皿として土地の基盤や生活環境などの整備について、この2、3年の期間に支援策として具体的に考えていることはあるのか。

答(農林課長) 2、3年の間でワイナリーを建設したいという計画を持っている事業者もおり、今までも様々な協議を進めてきています。

いろいろな省庁の支援事業から、どの事業が一番適しているのかを見極め、市のほうで何か支援できることがあるのか総合的に話を進め、事業者の希望に沿えるような事業を展開してまいりたい。



今年の収穫前ワイン用ブドウ畑 (文月地区)



新関 一夫 議員

質問1 市内の国・道の道路整備について

市長 地域住民のご理解を得ながら進めていきたい

問 (1) 国道228号富川部分について

長らく支障になっていた物件が、このたび整理されましたが、富川橋の改修を含め、今後の見通しを伺います。

(2) 道道北斗追分インター線について

北海道の計画街路ですが、これまで「久根別川の河川改修」、「JRの鉄橋や踏切」、「用地買収の見通し」等々で整備が遅れてきました。

いよいよ事業が進もうとしているようですが、進捗状況についてお知らせください。また、この事業に対する市の考えも併せてお知らせください。

(3) 道道大野上磯線について

この道路は久根別3丁目から国道228号へ陸橋をつなこうとする道路ですが、40年以上手付かずです。

この陸橋は膨大な予算を必要としますし、現道（久根別駅西側踏切）の閉鎖が伴う計画です。

この踏切は線路と斜交しているため拡幅もできず、危険性が指摘されてきまし

た。私は、現実的な対応をする時期だと考えています。

市は北海道に対し大規模な陸橋を取りやめ、現道の踏切部分を改良し、交通安全に対処するべきと考えますが、考えをお聞きます。

答(市長)

(1) 今後の予定については、函館開発建設部に確認したところ、来年度以降、早期に当該部分の改良工事を進めてまいりたいとのことです。

なお、その先の富川橋前後の拡幅整備については、未定とのことでしたので、市としては、当初計画のとおり、早期に着工していただくよう、引き続き要望してまいりたい。

(2) 当該路線は、昭和40年に都市計画決定をした街路ですが、長期間、事業が進捗しない状況が続いていました。

しかしながら、このたび、事業主体である北海道において、土地所有者との交渉が徐々に進んだこと、さらには大規模な公共事業の際に行なわれる事前評価の結果、国に対し事業要望を行うことは妥当であるとの判断を受けたことから、次のステップとして、市と北海道の共催による住民説明会を本年9月7日に総合文化センターで開催したところです。

その後、地元町内会から反対意見などが寄せられたことから、市と北海道では、地域住民の方々に説明会を開催し、ご理

解をいただけるよう努力してまいりたい。なお、市としては、この街路は基幹道路であり、災害時の避難路として期待する路線ですので、地域住民のご理解をいただきながら早期の完成を願っています。

(3) 当該路線は、平成28年に事業化に向けて説明会を開催した際、周辺町内会にアンケート調査を行ったところ、2町内会から既存の踏切廃止について反対意見が出されたことを受け、その後、この事業は進捗していません。

市としては、地元意見を踏まえ、最低限、歩行者や自転車などが通行できる踏切を残し、引き続き、現計画による早期完成を要望してまいりたい。

なお、踏切の改良については歩道部分の確保など交通安全に資する改良を北海道と協議中です。

質問2 北斗市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

市長 市民が安心して暮らすことができるような計画としたい

問

いよいよ団塊の世代が後期高齢者になろうとしています。

「老老介護」や「ヤングケアラー」の問題も身近な話として感じています。そのような背景の中、新しい計画の見通しについて考えを伺います。

答(市長) 本計画は、2025年問題及び2040年問題を視野に入れ、介護需

要の大きな傾向を把握し、その上でサービスの水準など施策の方向性を示すものであり、来年2月の完成を目指しています。

また、現在の社会問題については地域の課題や解決方法を視野に入れながら実態把握の調査を行い、策定委員のご意見を伺いながら計画の策定にあたるとしており、基本的には、高齢者が在宅で充実した生活を送ることができるよう、また、市民が地域で安心して暮らすことができるような計画の実現に努めてまいりたい。

質問3 観光協会に対する市の監査に代表監査委員 適正な管理運営に努めるよう指摘

問 今春の観光協会に対する市の監査で、異例ともいえる監査指摘事項がありました。なぜそのような指摘に至ったのかについて伺います。

答(代表監査委員) ご指摘の監査は、本年2月に実施したもので、監査の結果として、帳票類等の提出書類において、経理の状況を確認できない点が多く見受けられたことから、帳簿類等の作成方法に改善と、適正な管理運営に努められた旨の指摘をしたところであり、これを受け、次年度についても同様の監査を実施することとしています。

この踏切は線路と斜交しているため拡幅もできず、危険性が指摘されてきまし



吉田 直樹 議員

質 問 北斗市における「スマート農業」の普及推進や支援等は

市 長 農業の持続的発展、成長産業化のための施策展開をしたい

問 第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「まちをもっと元気にする産業振興」の中の具体的な取り組みで、先端技術や未来技術を活用した産業振興の項目があり、その中で「すでに効果が認められているスマート農業のさらなる普及促進を図る」とあります。

スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のことですが、農業の現場では、人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化、人手の確保、負担の軽減等が大きな課題となっています。

そこで、農業技術に先端技術を駆使した「スマート農業」を活用することにより、農作業における省力・軽労化をさらに進められることができるとともに、新規就農者の確保や栽培技術力の継承等が期待されています。

北海道内でも普及が進んでおり、スマ

ート農業の導入により、すでに効果が現れている地域もあります。

現時点において、北斗市では近々、普及推進や導入、支援等考えていることがあればお知らせください。

答（市長） 本市では、「米と野菜の複合経営」を推進しており、これまで、農業を営む上で生産基盤となる農地整備事業や施設園芸用ハウス等導入事業などに取り組んでまいりました。

しかしながら、現在の農業を取り巻く情勢は、農家人口の減少、高齢化、労働力不足など、様々な課題を抱えています。これらの課題に対処するために、国ではスマート農業の普及を進めています。

本市においては、市の単独事業である施設園芸用ハウス等導入事業を拡充し、昨年度よりビニールハウスの自動換気装置導入に対する支援を行っています。

スマート農業に係る農業用機械やビニールハウス関連設備の導入には、多額の費用を要することから、今後においても、国や北海道の支援事業の活用をはじめ、本市の施設園芸用ハウス等導入事業で実施している自動換気装置導入支援を継続してまいります。

また、生産者の方々や関係機関と協議した上で、課題解決に向けた新たな支援メニューについても検討してまいります。

現在、直面している高齢化や労働力不

足などの諸課題を解決することが期待できるスマート農業の推進は、本市の基幹産業である農業の持続的発展、成長産業化、また、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる1次産業の高収益化などにつながるものですので、スマート農業の取り組みを進化させる新たな視点から施策展開できるよう関係機関と連携し、農業振興を図ってまいります。

問 現在の北斗市の農業も高齢化による人材不足、後継者や担い手不足等で農地の貸借や売買により、1戸当たりの経営面積が増え、水田や畑は大区画化されてきており、農業機械の自動運転装置等が不可欠だと思うが、今後のスマート農業への取り組みについては。

答（農林課長） 農地の大区画化は市内でも進んでおり、GPS付きの農業機械も導入されてきています。

国の事業を活用した中で、これからも継続した対応をとってまいります。

問 スマート農業はこれからも推進していかねばならない事業です。

GPSだけの農業機械では、自動運転装置等の誤差が大きく生じています。基地局を設置しているところでは、誤差が小さくなるなどの情報もあることから、設置に向けた今後の対応について伺います。

答（農林課長） 農業だけではなく、林業

や様々な産業に活用できるのであれば検証してまいります。



GPSを搭載した防除機





高村 智 議員

質問1	今現在の待機児童数は
市長	待機児童はいませんが、潜在的待機児童数は51人

問 北斗市は、長い期間にわたり子育てしやすいまちとして評価を受けています。しかし、全国的な人口減少や少子化によって北斗市の未来予想図も厳しい状況であることは、近年の人口減や出生数を見ても明らかです。

そこで、これからどのような「まちづくり」をしていくのか、以下の観点からお聞かせください。

- (1) 保育園の待機児童問題は、北斗市でも解消されています。今現在の待機児童数と今後の取り組みをお聞かせください。
- (2) 放課後児童クラブの今後の課題とこれからの考えをお聞かせください。
- (3) コロナ禍で児童虐待が急増していると言われています。北斗市では北海道函館児童相談所と連携しながら問題解決しているのですが、相談件数が増えれば増えるほど担当職員への対応に限界を迎え、救える命を救えない痛ましいニュースも見受けられます。本来であれば、自分のまちは自

分たちで解決できるよう対応するべきだと考えますが、これからの考えをお聞かせください。

答(市長) (1)現在、待機児童はいませんが、希望どおりの保育所等に通うことができている「潜在的待機児童」は、12月1日時点で、0歳児クラスから5歳児クラスまで51人となっております、その内45人が市内の保育所等を、6人が市外の保育所等を希望しています。

なお、来年3月末をもって当別保育園が閉園することに伴い、来年度においては、一定数の待機児童が発生してしまうものと考えています。

その解消策として、来年度においては、保育士の人材バンクを開設するなどとして、保育施設の環境整備と保育士の人材確保の両面から課題解決を図ってまいります。

(2)来年度に向けて、質的拡充のための研修会の開催など充実を図ってまいります。

(3)専門性の高い「子ども家庭総合支援拠点」の早期設置に向けて準備を進めてまいります。

質問2	各店舗での感染拡大を防ぐ感染対策補助金の考えは
市長	新たな施策等を継続して検討してまいります

問 (1)北斗市では国からの補助金を活用し、様々なコロナ対策を進めてきました。これからは感染を抑えながら生活して

いく方法を市民一丸となって早急に取り組んでいかなければならないと考えます。地域応援券も経済対策としては経営者の皆さんに喜んでいただき、第2弾の効果にも期待が高まっています。

しかし、そのためにも各店舗での感染拡大を防ぐ感染対策にも積極的に手を打つべきと考えます。

特に理美容室や飲食店、病院や整骨院、買い物など滞在時間の長い事業所には、空間除菌型のエアコンや空気清浄機や間仕切りなどのさらなる対策にも補助金を出すべきと考えますが、今後の対応をお聞かせください。

(2)新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、全国的に感染者並びに感染施設、個人、団体を問わず不当な差別や偏見、いじめを受ける事案が発生しています。また、不確かな情報や誤った情報によるいわれのない風評被害が社会問題化しています。

一部の自治体では新型コロナウイルス感染症患者等の人権の擁護に関する条例を定めています。

人権の侵害を未然に防止するとともに、人権の侵害による被害からの迅速かつ適切な救済を図り、感染症の患者や家族が安心して暮らすことができるよう北斗市でも条例を制定してどうか考えますが、市長の考えをお聞かせください。

(3)新型コロナウイルスに感染の恐れがある場合、市役所や保健所に相談して具体的な手続きになるかと思えます。

先日、味覚に異常を感じた市民が市役所に電話したところ、歯科医へ行くように言われたため、さすがにそれは違うと感じて渡島保健所に連絡した際、北斗市では検査する医療機関が無いため、七飯町の医療機関を教えられたとのことでした。なぜ、市内の医療機関ではPCR検査ができないのか、具体的な症状を言われた場合の対処方法など、市民を不安にさせないような対応が必要と思いますが、市長の考えをお聞かせください。

答(市長) (1)市としては、様々な事業を通して、側面からの事業者支援を中心に幅広く行っていることから、今後も国の動向等に注視しながら、新たな施策等を継続して検討してまいります。

(2)国や他の自治体の人権侵害に対する対応状況を注視しながら、条例の必要性を検討してまいります。

(3)市内の医療機関が発熱患者を時間的あるいは空間的に分けることが困難な構造である点と、感染症の専門スタッフがいないからと聞いています。

疑いのある場合はかかりつけ医や市内の電話相談医療機関、北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センターへ電話していただきたい。



前田 治 議員

質問1 条件不適土の存在を隠していたのでは

市長 風評被害を考慮し判断した

問 新幹線トンネル工事に伴い、掘削土から環境基準の最大270倍にも及ぶヒ素が検出され、10月15日以降、工事がストップするという事態になっています。

以下の点についてお伺いします。

(1)条件不適土が出現したのが平成30年10月だったにもかかわらず、鉄道・運輸機構から市に報告のあったのが令和元年7月となっています。これほど重要な問題が9カ月にもわたって報告を怠ったことへの市長の認識について

(2)市は、条件不適土の存在を知っていたにもかかわらず、議会にも市民にもその事実を隠していたことに、市民から不信感を持たれ、不満が数多く出されているが、市長の認識について

答(市長) (1)鉄道・運輸機構により安全に管理されている状況にあり、直ちに市に報告しなければならぬ事案ではなかったものと認識しています。(2)今後の処理方針の決定前の段階で公表することは、市民の不安や危機感をあお

る結果となりかねないので、風評被害の発生なども考慮し、適切ではないと判断したものであり、また、この件についての市民からの不信や不満は、一切聞いていません。

一方、一部の市民等による科学的根拠に基づかない不適切な情報の流布により、風評被害の発生などを大変憂慮しているところであり、厳に慎んでいただきたいと考えています。

問 私たちは、ヒ素のもたらす影響が非常に大きなものだという認識をしています。

ヒ素は水や空気に触れた途端に亜ヒ酸という猛毒に変わる。これは専門家の理論的な裏づけがあります。亜ヒ酸の毒性は、青酸カリ同等以上のものだとされています。それを根拠のない風評被害と片付けられたら非常に残念です。

副市長も言われているように、第三者機関等を通してしっかりと検証している、心配ないと説明をしていますが、その知見がすべてではありません。それをお互いに勉強し合おうとしないのではどうか。そういう姿勢を持たれてはどうか。

答(副市長) お互い話合いましよと言いますが、相当ご説明しているのに、何一つご理解いただけていません。どうやって歩み寄りを取ればいいのか、何とも

お答えしようがないというのが正直なところですよ。

鉄道・運輸機構のほうはマニュアルに沿って、きちんとした機関、大学の先生等12名の第三者委員会のメンバーで結論を出し、環境基準以下に収まる対策工によって、安全だと答えを出していたといっています。このやり取りを何回もしています。どういうふうに歩み寄りを得るのか、私はちよつとお答えできません。



条件不適土が仮置きされている天狗仮置き場

質問2 市民の新型コロナウイルス感染状況は

市長道の公表では感染者10名

問 新型コロナウイルス感染拡大は、第2波までとは比較にならないほどの広がりを見せ、北斗市内での感染拡大が現実のものとなってしまいました。

以下の点についてお伺いします。

- (1)北斗市民の感染状況について
(2)さらに感染拡大する恐れもあるが、PCR検査可能数、入院可能ベッド数、軽症者受け入れ施設の確保状況について
(3)インフルエンザワクチンの接種状況及びワクチンの確保について

答(市長) (1)居住市町村名の公表について同意を得て、北海道が発表した情報としては、12月8日現在、北斗市民の感染者は10人となっていますが、そのほかに複数名の感染者がいるとの情報を得ています。

(2)渡島管内で、検査可能数は1日当たり500件程度となっており、入院可能ベッド数は181床、軽症者受け入れ施設については、東横イン函館駅前大門の1施設110人が確保されています。

(3)10月の実績で約8千件の接種となっており、11月も同程度と見込んでいます。

また、ワクチンの確保については、全国的に不足している旨の報道がされており、その確保については、各医療機関に委ねるしかない状況ですが、今後の入荷予定もあると聞いていますので、市では引き続き最新の情報をホームページに掲載し、市民の皆さまへお知らせしていきたいと考えています。



委員会活動をお知らせします

《総務常任委員会》

- ・10月29日に委員会を開催し、『防災計画等に関する調査』及び追分山車倉庫（防災倉庫）での現地調査を行い、備蓄計画で示している備蓄数の積算根拠について、備蓄品が1地区に集中しているがこれを各地区に分散する計画はないのかなどの質疑応答を行いました。
- ・12月10日に第4回定例会で付託された、条例の一部改正（3件）の審査を行い、『北斗市固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正』については、改正は対象の変更なのか条項の変更のみなのかなど、『北斗市健康センター条例の一部改正』については、利用料金制とは利用料で全てを賄うということかなど、『北斗市火葬場条例の一部改正』については、火葬場の使用について自治体間での取り決めや調整はできないのかなどの質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



追分山車倉庫（防災倉庫）の現地調査

《文教厚生常任委員会》

- ・10月22日に委員会を開催し、『介護老人福祉施設等に関する調査』、『放課後等デイサービスに関する調査』、『コロナ禍における学校運営に関する調査』を行い、『介護老人福祉施設等に関する調査』については、認知症の増え方や今後の市の対応について、介護士不足について把握しているかなど、『放課後等デイサービスに関する調査』については、事業所開設に当たって市や道の許可は必要なのか、基準等はあるのかなど、『コロナ禍における学校運営に関する調査』については、コロナ禍での市内の中学校と私立中学校等の教育課程の違いについて、学校行事が中止となったことでの子どもたちのストレスの状況を把握しているのかなどの質疑応答を行いました。



文教厚生常任委員会のようす

《産業建設常任委員会》

- ・11月13日に委員会を開催し、『令和2年度第1次産品の出来高（見込み含む）に関する調査』、『建設関係の入札に関する調査』を行い、『令和2年度第1次産品の出来高（見込み含む）に関する調査』については、米の価格はいくらか、農林水産業者で新型コロナウイルス感染症の拡大により国の支援を受けるほどの影響を受けた方はいるのかなど、『建設関係の入札に関する調査』については、北斗市指定給水装置工事事業者の資格を有するための条件について、発注標準の等級の決め方などの質疑応答を行いました。
- ・12月10日に第4回定例会で付託された、条例の一部改正（1件）の審査を行い、『北斗市営住宅条例の一部改正』について、入居基準と子育て世帯への優遇措置について、建物の住居表示の取り扱い、入居可能日はいつかなどの質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



産業建設常任委員会のようす

《議会運営委員会》

- ・10月15日に委員会を開催し、議会だより（No64）の監修を行いました。
- ・11月2日に委員会を開催し、第4回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を11月10日の1日としました。
- ・11月19日に委員会を開催し、第5回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を11月27日の1日としました。

- ・11月30日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を12月8日から12月11日までの4日間としました。
- ・12月8日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営（追加議件）に関する協議ののち、本会議へ提案する意見書の趣旨説明を提出者から受けました。

《北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会》

- ・11月12日に委員会を開催し、副市長、担当部課長の出席、鉄道・運輸機構の次長、課長及び所長を参考人として招致し、天狗工区作業ヤード内の仮置き場及び村山受入地の現地調査を行ったのち、既存の搬入条件に適さない対策土の処理方針、場外仮置き場の課題と対策及び確保についての説明を受け、最終的な対策方法はどのようなのかなどの質疑応答を行いました。
- ・11月25日に委員会を開催し、副市長、担当部課長の出席、鉄道・運輸機構の所長、副所長を参考人として招致し、場外仮置き場の選定についての説明を受け、場外仮置き場までの搬入ルート、関係団体への対応についてなどの質疑応答を行いました。



天狗工区作業ヤード内の仮置き場の現地調査

《議会改革の推進に関する調査特別委員会》

- ・12月17日に委員会を開催し、検討課題の24項目を（1）改めて会派で協議をすることとした項目、（2）条例・規則・内規等を改正して実施する項目、（3）他の委員会等で協議する項目、（4）執行者等へ協議・要望する項目、（5）現行規定や慣例で対応可能な項目、（6）別組織を立ち上げ検討する項目、（7）取り組まない項目の、以上7項目に分類し、議会基本条例の制定や議員定数の見直し、議会のICT化などについて協議しました。



議会改革の推進に関する調査特別委員会のようす

その他の会議など（市議会）

■全員協議会

- ・12月9日に北斗市役所で開かれ、閉会中における正副議長の公務活動、一部事務組合・広域連合議会の概要、常任委員会の所管事務調査・特別委員会調査の概要について報告され、また、市から報告事項（1件）がありました。

一部事務組合・広域連合議会の動き

■南渡島消防事務組合議会

- ・10月6日に令和2年第1回臨時会が南渡島消防事務組合消防本部で開かれ、令和2年度一般会計補正予算、財産の取得（感染防止衣大型洗濯乾燥機3台）について審議され、可決されました。
- ・11月30日に令和2年第3回定例会が北斗市役所で開かれ、議席の指定、令和2年度一般会計補正予算、条例の一部改正（2件）について審議され、可決されました。

■南渡島衛生施設組合議会

- ・10月6日に令和2年第2回定例会が南渡島衛生施設組合で開かれ、監査委員の選任同意（1件）、専決処分した事件の承認（4件）、令和元年度会計歳入歳出決算認定が審議され、認定等されました。



■函館湾流域下水道事務組合議会

- ・11月20日に令和2年第2回定例会が函館市役所で開かれ、令和2年度一般会計補正予算、公平委員会委員の選任同意（1件）、令和元年度一般会計決算認定、報告（2件）が審議され、可決・認定等されました。

■函館圏公立大学広域連合議会

- ・11月20日に令和2年第2回定例会が函館市役所で開かれ、令和2年度一般会計補正予算、公平委員会委員の選任同意（1件）、令和元年度一般会計決算認定、報告（3件）が審議され、可決・認定等されました。この他、一般質問（2件）が行われました。

■渡島廃棄物処理広域連合議会

- ・10月23日に令和2年第2回定例会が渡島廃棄物処理広域連合で開かれ、議席の指定、副広域連合長の選任同意（1件）、選挙管理委員及び同補充員の選挙、専決処分した事件の承認（3号）、令和2年度一般会計補正予算、令和元年度一般会計決算認定が審議され、可決・認定等されました。この他、一般質問（1件）が行われました。

令和2年10月9日、北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟が、きじひき高原にエゾヤマザクラを植樹しました。



議会ホームページのご案内

北斗市ホームページ内に、議会のページを開設しています。
議員の顔ぶれや議会の概要のほか、一般質問のあらまし、
議決結果や議決された意見書といったことや開催予定の議会
及び委員会の日程などを掲載しています。
皆様のアクセスをお待ちしています。



<https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/shisei/gikai/>

～ 将来を担う子どもたちからの問いかけ ～

第3回北斗市子ども議会



令和2年11月24日、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた中、第3回北斗市子ども議会が市議会議場において、小学5年生から高校3年生までの子ども議員と市長をはじめとする説明員の出席のもと開催されました。

上磯中学校の西里遥伽議長の開会宣告のあと、実際の市議会本会議さながらに、北斗市の将来に関する提案や市政運営について、10人が一般質問を行いました。

【子ども議員からの質問事項】

- ・木村 美羽 議員（函館水産高等学校）
「新規の事業として」
- ・佐澤 來空 議員（茂辺地小学校）
「北斗市内（観光名所）巡回バスの運行について」
- ・成沢 友輝 議員（上磯小学校）
「北斗市の特産物を、より多くの人に知ってもらうために」
- ・土田 りさ 議員（浜分中学校）
「北斗市の留学制度について」
- ・松橋 健 議員（浜分小学校）
「北斗市の観光について」
- ・澤田 七海 議員（大野農業高等学校）
「バスの本数が少ない件について」
- ・小野寺 葵大 議員（大野小学校）
「公園などの施設について」
- ・小笠原 拓斗 議員（石別中学校）
「北斗市に道の駅ができる予定はありますか」
- ・竹内 大騎 議員（沖川小学校）
「新函館北斗駅の活性化について」
- ・藤本 凜 議員（島川小学校）
「未来の北斗市を支える私たちに必要なこと」



本会議に先立ち、北斗市議会中井議長から「普段の児童会や生徒会の運営とは勝手が違うと思いますが、子ども議会議員としての自信と誇りを持って臨んでいただきたい」とあいさつがありました。



令和2年1月～令和2年12月 定例会・臨時会出席状況一覧表

○は出席 ×は欠席 △は遅刻、早退 \は出席不要 公は議会として欠席することが妥当と認めた欠席

区分 氏名	第1回定例会				第2回定例会				第3回定例会				第4回定例会			臨時会							
	本会議				予算審査特別委員会				本会議			決算審査特別委員会				本会議			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3					
中井光幸	○	○	○	○	\	\	\	\	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
白戸昭司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
仲村千鶴子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
渡野辺秀雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
前田治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	
伊藤洋平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
佐々木亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高村智	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
新関一夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
花巻徹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
寺澤十郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
吉田直樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
玉森大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
栃木正則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工藤秀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高田茂	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小泉征男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
白石勝士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	\	\	\	\	\	\	○	○	○	○	
山本正宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
水上務	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
秋田厚也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
坂見英幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和2年1月～令和2年12月 各委員会出席状況一覧表

○は出席 ×は欠席 △は遅刻、早退

◎議会運営委員会

氏名	回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	秋田厚也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡野辺秀雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高村智	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寺澤十郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
玉森大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工藤秀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小泉征男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山本正宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白戸昭司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※委員のほか、議長が出席しています。



◎総務常任委員会

氏名	回	1	2	3	4	5	6	7
山本正宏		○	○	○	○	○	○	○
前田治		○	○	○	○	○	○	○
伊藤洋平		○	○	○	○	○	○	○
寺澤十郎		○	○	○	○	○	○	○
栃木正則		○	○	○	○	○	○	○
高田茂		○	○	○	○	○	○	○
白戸昭司		○	○	○	○	○	○	○

◎文教厚生常任委員会

氏名	回	1	2	3	4	5	6	7
仲村千鶴子		○	○	○	○	○	○	○
工藤秀子		○	○	○	○	○	○	○
佐々木亮		○	○	○	○	○	○	○
高村智		○	○	○	○	○	○	○
花巻徹		○	○	○	○	○	○	○
吉田直樹		○	○	○	○	○	○	○
小泉征男		○	○	○	○	○	○	○

◎産業建設常任委員会

氏名	回	1	2	3	4	5	6	7	8
新関一夫		○	○	○	○	○	○	○	○
玉森大樹		○	○	○	○	○	○	○	○
渡野辺秀雄		○	○	○	○	○	○	○	○
白石勝士		○	○	○	○	○	○	○	○
水上務		○	○	○	○	×	○	○	○
秋田厚也		○	○	○	○	○	○	○	○
坂見英幸		○	○	○	○	○	○	○	○



◎北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会

氏名	回	6	7	8	9	10	11
白戸昭司		○	○	○	○	○	○
山本正宏		○	○	○	○	○	○
渡野辺秀雄		○	○	○	○	○	○
前田治		○	○	○	○	○	○
新関一夫		○	○	○	○	○	○
玉森大樹		○	○	○	○	○	○
工藤秀子		○	○	○	○	○	○
小泉征男		○	○	○	○	○	○
白石勝士		○	○	○	○	○	○
秋田厚也		○	○	○	○	○	○

※委員のほか、議長が出席しています。

◎議会改革の推進に関する調査特別委員会

氏名	回	1	2	3	4	5	6
白戸昭司		○	○	○	○	○	○
仲村千鶴子		○	○	○	○	○	○
高村智		○	○	○	○	○	○
新関一夫		○	○	○	○	○	○
花巻徹		○	○	○	○	○	○
玉森大樹		○	○	○	○	○	○
栃木正則		○	○	○	○	○	○
工藤秀子		○	○	○	○	○	○
白石勝士		○	○	○	○	○	○
山本正宏		○	○	○	○	○	○
秋田厚也		○	○	○	○	○	○

※委員のほか、議長が出席しています。

議会の模様がインターネットでご覧いただけます。

- 北斗市議会ホームページの「議会映像」→「市議会インターネット中継」をクリックすると視聴方法の選択画面（「ライブ中継を見る」・「録画映像を見る」）に進みます。

<https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/1987.html>

北斗市議会

検索

- 市役所や総合分庁舎などでも、議会中継の模様が設置モニターでご覧になれます。

【ご覧いただける場所】・市役所本庁舎・総合分庁舎・市役所七重浜支所、茂辺地支所



議会日誌（令和2年10月1日～令和2年12月31日）

10月	6日	南渡島衛生施設組合議会定例会（組合議員） 南渡島消防事務組合議会臨時会（組合議員）	19日	「議会運営委員会」		
	7日	定期監査（監査委員議員）	20日	函館湾流域下水道事務組合議会定例会（組合議員） 函館圏公立大学広域連合議会定例会（連合議員）		
	8日	定期監査（監査委員議員）	24日	第3回北斗市子ども議会 （正副議長、議会運営委員長、各常任委員長）		
	9日	北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟植樹『きじひき高原』	25日	「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」 例月出納検査（監査委員議員）		
	10日	北斗市青少年育成大会（議長）	26日	例月出納検査（監査委員議員）		
	15日	「議会運営委員会」 渡島廃棄物処理広域連合議会「議会運営委員会」 （議長、議会運営委員）	27日	北斗市議会第5回臨時会本会議		
	22日	「文教厚生常任委員会」	30日	南渡島消防事務組合議会定例会（組合議員） 「議会運営委員会」		
	23日	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会（議長、連合議員）	12月	8日	北斗市議会第4回定例会本会議（第1日目） 「議会運営委員会」	
	27日	例月出納検査（監査委員議員）		9日	定例会本会議（第2日目） 「全員協議会」	
	28日	例月出納検査（監査委員議員）		10日	「総務常任委員会」 「産業建設常任委員会」	
	29日	「総務常任委員会」		11日	定例会本会議（第3日目）	
	11月	2日		「議会運営委員会」	17日	「議会改革の推進に関する調査特別委員会」
		5日		全国市議会議長会理事会『東京都』（議長）	23日	例月出納検査（監査委員議員）
		10日	北斗市議会第4回臨時会本会議 北斗市老人クラブ大会（議長）	24日	例月出納検査（監査委員議員）	
11日		定期監査（監査委員議員）				
12日		「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」				
13日	「産業建設常任委員会」 定期監査（監査委員議員）					

= 本会議を傍聴しませんか！ =

議会傍聴は、市民の代表である議員がどんな活動をしているか、市政がどのように運営されているのかなどを知る良い機会です。
傍聴したい方は、市役所3階の本会議場傍聴席までお越しください。



議会開催予定

第1回北斗市議会定例会は、3月の開催を予定しています。

編集後記

▼令和3年の新年を迎えましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、世界的に政治経済や生活様式などが大きく変化した1年でした。

▼こうした中、令和2年第4回定例会が無事終了しました。

これまでの新型コロナウイルス緊急対策事業として組まれた一般会計補正額が膨大となり、全国の自治体が同じような状況であることを考えると、今後の国の予算や税制が気になるところです。

▼議会運営では、第1回定例会から会期中の感染予防対策を継続的に講じてきました。

消毒液の配置、マスクの着用と発言時においてもマスク着用のまま、すべて自席にて行いました。

また、11月に北斗市内での感染者が初めて発生したことから、第4回定例会は検温を行い、発熱・咳等の症状がある場合や本人又は家族が濃厚接触者となり、自主的な判断で欠席した場合は公休扱いとすることにしました。

▼ワクチンの状況が注目されますが、医療従事者の皆さまには頭の下がる思いです。

医療体制の正常化のためにも一人一人が感染予防に努め、一日も早い終息を願っております。

（編集委員 白戸 昭司）

☆市議会だよりをご覧くださいありがとうございます。皆様のご意見感想をお聞かせください。
『☎ 73-3111 F A X 73-6970』『メールアドレス gikai@city.hokuto.hokkaido.jp』

印刷／朝日印刷